

様式第3号（第4条関係）

令和2年 4月 28日

小浜市議会議長  
今井 伸治 様

議員名 杉本 和範



政務活動費収支報告書

令和元年5月1日付け浜議指令第2号により交付決定のあった政務活動が完了したので、小浜市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

令和元年度 (5月～3月分) 政務活動費収支報告書

議員名 杉本 和範

1 収入

政務活動費 211,578 円

2 支出

(単位:円)

科目	金額	備考
調査研究費	31,820	先進地視察 (8月鎌倉・11月鯖江)
研修費	32,870	全国議長会研究F (10月高知)
広報費	72,500	政務活動HP作成運営費・活動報告費
広聴費	0	
要請・陳情活動費	0	
会議費	0	
資料作成費	0	
資料購入費	30,625	福井新聞購読費
人件費		
事務所費	43,763	
合計	211,578	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。



科 目	調査研究費																
整理番号	/																
領収書等貼付欄																	
<p>領 収 書</p> <p style="text-align: right;">No. 025771</p> <p>杉本和範 様</p> <p style="text-align: right;">R1年8月23日</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>金額</td> <td>¥</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>-</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">上記正に領収いたしました</p> <p>8/26 小浜-鎌倉 JR代金として</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>現金</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小切手</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="text-align: right;">  <p><b>三福タクシー株式会社</b> <b>ミフクツーリスト</b></p> <p>〒917-0072 福井県小浜市千種2丁目1-7 TEL.0770-53-0329 FAX.0770-53-9000</p>  </div>		金額	¥	2	8	8	2	0	-	現金				小切手			
金額	¥	2	8	8	2	0	-										
現金																	
小切手																	
領 収 書 等 添付合計金額	28,820 - 円																

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

令和 元年度政務活動費 調査研究等報告書

議員名 杉本 和範

- 1 日 時 令和元年 8 月 26 日月曜日
- 2 場 所 神奈川県鎌倉市
- 3 目 的 市民共創の総合計画策定の仕組みと  
サテライトオフィスが集結する仕掛け企業のリサーチ
- 4 参加議員 杉本和範のみ

5 内容・成果・所見

この視察の目的は、鎌倉市は約 600 億円規模の一般会計予算規模約 17 万人と小浜市に比べて予算は約 4 倍近いが、この大きな規模の鎌倉市総合計画策定の方法として民間の声を「ブレインストーミング」のような方法で集めて反映する仕組みで策定されたその担当課とキーパーソンに話を伺うこと。

そして、鎌倉は鯖江市のプランコンテストの原点である「カマコン」というまちづくりのアイデアを市民や団体が毎月考えプレゼンするという仕組みがあり、その仕掛け企業「面白法人カヤック」(kayac.com) のまちづくりとの仕組みを直接聞き取り、小浜市のこれからのまちづくりのヒントにならないかと思い、調査し視察いたしました。

成果は予想以上に大きかったです。まず、スケジュール上「面白法人カヤック」の広報担当者からカマコンことカマコンバレーの現状やここでのアイデアが市のまちづくりに反映される仕組みについてプレゼンテーション方式で説明を受けた。

2013 年から始まっている毎月 1 回の定例会を開催しているカマコンは現在地域団体となり「鎌倉をもっと元気にする」という目的のもとメンバーは 150 人以上の大きな団体となっている。定例会では、有志がプロジェクトを持ち寄ってプレゼンし、

全員でブレインストーミングを行って、どうしたら実現できるが議論している。これによって地域課題がリアルタイムにジブンゴトとなり、市民参加型のまちづくりが可能な仕組みが出来上がっている。例えとして、鎌倉市の花火大会も一度無くなったが、カマコンでのアイデアで復活した。

鎌倉市には、東京横浜間が新幹線で17分とそこからの2次交通で都心部へのアクセスタイムの良さや古き良き文化とニュービジネスの共存が町としての魅力になり、サテライトオフィスや本社を鎌倉に移す中堅企業が増えるなど、未来型にスムーズにシフトしているまちづくりのお手本も多かった。

さらに昼食をとったのが、「まちの社員食堂」。この取り組みは、20社近くの近隣小中企業と鎌倉市役所組合が共通の社員食堂として運営して、福利厚生の一部機能を共有する仕組みでした。この仕組みは、まちの駅旭座の新たな利活用方法として検討材料と感じ、視察から戻りすぐに伝えました。

その後、鎌倉市役所共創計画部の総合計画策定担当者様からプロポーザル選定のから市民との共創で総合計画を策定した流れ、「時代に合わせた6年サイクルの総合計画策定への変更（もともと10年サイクル）」への理事者と議会の取り組みを聞きました。資料や市民とブレインストーミングから総合計画を作り上げるアイデアをいただき、参考になりました。

最後に、鎌倉市の商工会議所にご挨拶に伺い日帰り視察でしたので帰路につきました。

視察後、12月議会一般質問において2021年からの「小浜市第6次総合計画」策定にあたり、時代の流れに応じての計画期間10年から6年に変更の可能性を問いました。所見としては今後、当市でも新型コロナウイルス感染症の経済的影響を受け、経済構造は大きく変化するでしょう。鎌倉市の先進事例は、今後変化を迫られる市政運営の一つのヒントになると感じました。引き続き、今回構築できた鎌倉市との関係性を磨き未来の小浜のまちづくりに生かしていきたいと思えます。

#### 〈行程〉

令和元年8月26日

午前5時 小浜駅発→午前11時前鎌倉駅到着

午前11時 面白法人カヤック視察→正午

正午 まちの社員食堂昼食→午後1時

午後1時 サテライトオフィス視察→午後2時

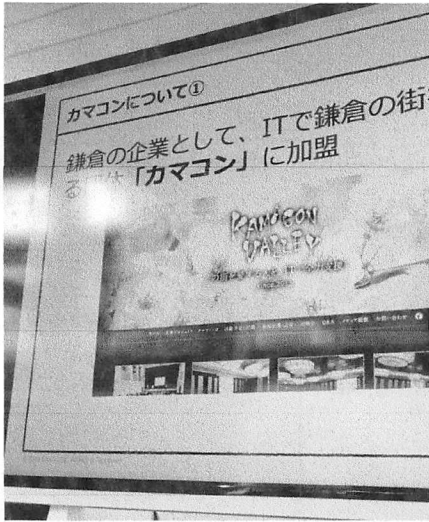
午後2時 鎌倉市役所担当課視察→午後3時

午後3時 鎌倉商工会議所あいさつ→午後3時半

午後4時 鎌倉駅発→午後10時小浜駅到着

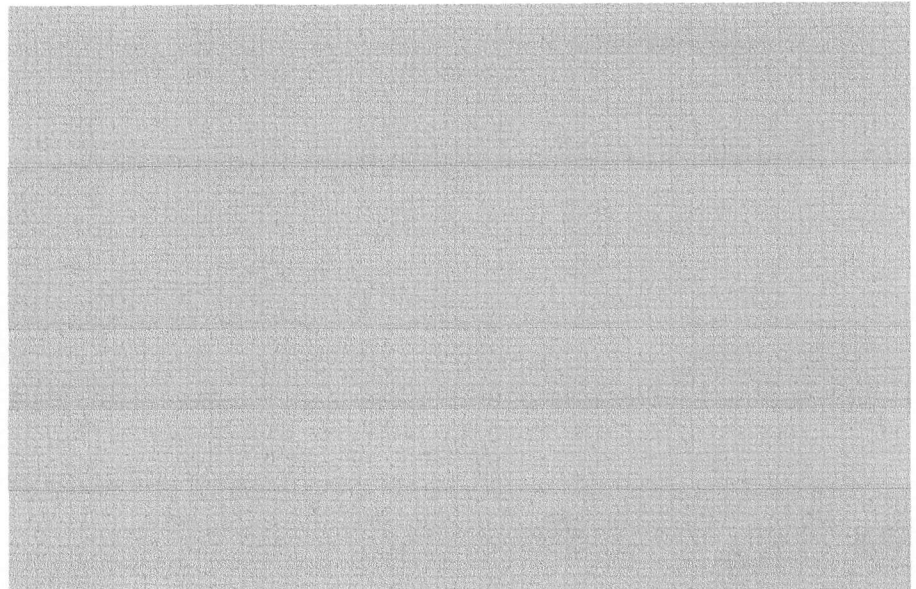
#### 〈関係資料、写真等〉

別紙参照



# 鎌倉市視察

面白法人カヤック、まちの社員食堂、鎌倉市役所



科 目	調査研究費																				
整理番号	2																				
領収書等貼付欄																					
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>領 収 証</p> <p style="text-align: center;">松本和範 様 No. _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">金額</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>7</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">取 入 印 紙</p> <p>内 訳 _____ 但 検察費用として</p> <p>現金 _____ 2019年 11月 11日 上記正に領収いたしました</p> <p>小切手 _____</p> <p>手形 _____</p> <p>消費税額等( %) _____</p> <p style="text-align: right;">〒916-0025 福井県鯖江市旭町1-6-6 NPO法人 エル・コミュニティー 代 表 竹 部 美 穂</p> <p style="text-align: right;">係印</p> <p>コクヨ ウケ-390</p> </div>		金額													7	3	0	0	0	-	
金額																					
			7	3	0	0	0	-													
領 収 書 等 添付合計金額	3,000 円																				

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。



様式第3号

令和 元年度政務活動費 調査研究等報告書

議員名 杉本 和範

- 1 日時 令和元年11月11日月曜日
- 2 場所 福井県鯖江市
- 3 目的 鯖江NPO法人のプランコンテストと行政が協働で取り組むサテライトオフィス誘致の仕組み
- 4 参加議員 杉本和範・佐久間博

5 内容・成果・所見

視察の目的は、先に視察した鎌倉市の地域団体カマコンの市民プレゼンテーションのまちづくり反映モデルが同じ福井県鯖江市にどう波及し、鯖江のまちづくりのベースになっているのか「市長やりませんか・プランコンテスト」発案者のNPO法人エル・コミュニティの竹部美樹氏から直接仕組みを聞くこと、その場で行政と民間と共有することでした。

そこで、事前調査で竹部氏がUターンし鯖江に戻りこのプランコンテストを始めたのには鯖江市市政側の「おもてなし」に近い受け入れ態勢があったことや、この13年続いているプランコンテストが今の鯖江市人口減少を県内で唯一食い止めることに成功していることとの関連性や、(株)わどうさんはじめ多くの企業がサテライトオフィス設置先として鯖江市を選ぶ仕組みを現場の方々から直接聞き取ることとした。

内容は、簡単にまとめるとプランコンテストは全国の大学生が3人1チーム

で鯖江市長ならばどんなまちづくりプランを考えるか？をテーマに全国の有志が一堂に集まる仕組みが画期的に思えた。13年の間に参加した学生は、メンターと称して現在国家戦略に携わる者や先進的企業で活躍する人も多く、メンターたちがまた鯖江に人や企業や技術を送り込む仕組みができている。さらに、そのプランに積極的にサポートする鯖江市の姿勢が出来ている。有名なJK課は、このプランコンテストから生まれた。

そして、最初に訪問した(株)わどうの山岸氏が鯖江を訪れて企業を引き込みサテライトオフィス開設に至るのにも、このおもてなし精神が関連していた。

総合的な所感としては、行政と民間とそこをつなぐ議員のそれぞれの役割を互いに理解し動く仕組みが何よりも大切だということを感じた。竹部氏から最後に市会議員の役割をどう考えますかという質問の答えの言葉が胸に刺さった。「市会議員さんは、民間と行政の横串を指す大切な役目」だと。市民に選ばれている市議会議員が、プランコンテストの運営などで市政にも商店街などにも説明に行ってくれたりしたという。議員の役割も学べる視察となった。

#### 【行程表】

令和元年11月11日 月曜日

8:30 小浜出発 →9:45 鯖江市到着

10:00 (株)わどう視察 →11:30

12:00 鯖江駅えきライブラリーtetote ランチミーティング

13:00 鯖江市役所総合政策部課担当者聞き取り →14:30

15:30 NPO法人エル・コミュニティ視察 →17:00

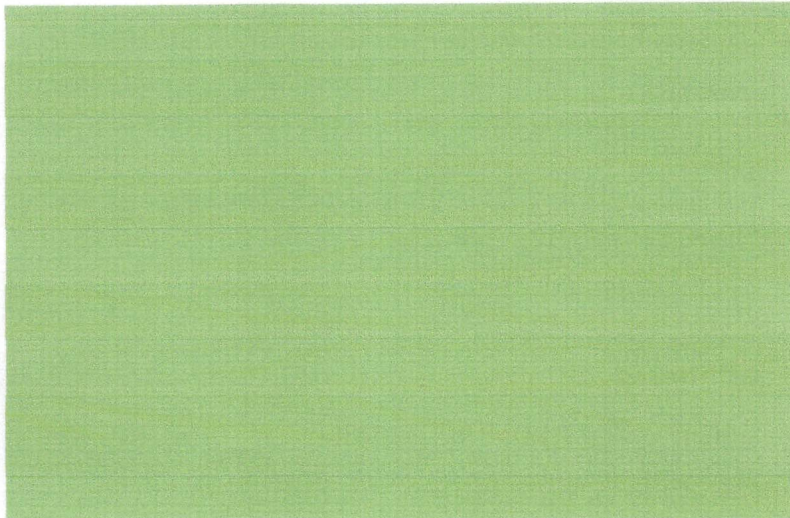
17:30 鯖江市出発 →19:00 小浜市到着

資料写真別紙掲載



# 鯖江市視察

(株) わどう、鯖江市役所、NPO法人エル・コミュニティ





領収書等整理表

(令和元年度報告分)

科 目		研修費						
整理番号								
領収書等貼付欄								
(誠友会他 第14回全国市議会議長会研究フォーラム 交通費・宿泊費・研修費等) ①								
会場：高知県高知市 高知ぢばさんセンター 令和元年10月30日(水)～31日(木)								
No.	氏名	バス代 通行料・ 駐車料含む	タクシー代 会場→ホテル	宿泊料	研修参加料	入館料 廃校水族館	振込手数料	合計
1	池尾正彦	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
2	富永芳夫	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
3	垣本正直	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
4	竹本雅之	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
5	熊谷久恵	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
6	藤田善平	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
7	今井伸治	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
8	小澤長純	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
9	藤田靖人	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
10	牧岡輝雄	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
11	川代雅和	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
12	東野浩和	16,554	661	8,000	7,000	600	55	32,870
13	下中雅之	16,553	662	8,000	7,000	600	55	32,870
14	能登恵子	16,553	662	8,000	7,000	600	55	32,870
15	佐久間博	16,553	662	8,000	7,000	600	55	32,870
16	杉本和範	16,553	662	8,000	7,000	600	55	32,870
合計		264,860	10,580	128,000	112,000	9,600	880	525,920
領収書等 添付合計金額		32,870円						

上記費用の支出を確認しております。

誠友会 会計：熊谷久恵



※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

様式第3号

令和 元年度政務活動費 調査研究等報告書

議員名 杉本 和範

- 1 日時 令和元年10月30日水曜日から10月31日木曜日
- 2 場所 高知県高知市、高知県室戸市
- 3 目的 全国市議会の最新の取り組みと動向の共有（高知）  
廃校利活用の成功例から市政策反映（室戸）
- 4 参加議員 池尾正彦、富永芳夫、垣本正直、竹本雅之、熊谷久恵  
藤田善平、今井伸治、小澤長純、藤田靖人、牧岡輝雄  
川代雅和、東野浩和、下中雅之、能登恵子、佐久間博  
杉本和範 計16名

5 内容・成果・所見

【全国市議会議長会研究フォーラム】

フォーラム構成

1. 基調講演 現代政治のマトリクスリベラル保守という可能性
2. パネルディスカッション 議会活性化のための船中八策
3. 課題討議 議会活性化のための船中八策

まず、基調講演においては東京工業大学の中島氏による「政治」という仕事に関する講演の内容は大変分かりやすかった。政治は、市民国民から集めた税金をどう使っていくのかという大変重要な仕事である。政治マトリクスのどのフェーズで国政が行われていて、地方行政はどのフェーズに重きを置くのか。子育てに重きを置き、幼稚園保育園の無償化をすることは社会福祉に力を入れている

一方で大きな政府にシフトしているか小さな政府にシフトしているのかというバランスをしっかりと分析する必要があると理解しました。

特に、約 3 万人という小さな地方政治のこれからのわれわれ議員の運営の本質が問われる時代であると理解できました。

パネルディスカッションと課題討議においては、新旧両面の地方議会の在り方と地方選挙の在り方が見てとれました。先進的な地の各議長から聞こえてきたのは、やはり住民の声をどう拾い上げて市政にどう反映するか、そこに取り組んでいる自治体とそうでない自治体とのギャップ・差が大きいとよく分かりました。夏に視察に行きました鎌倉市に久坂くにえ議長は全国初の出産された議員でもあり産休も取得したりと、女性の政治参加だけでなく出産育児世代の政治参加の可能性を実証されていました。

投票率の低下は無関心の現れであるという話は、地域ごとに大きな課題であるという認識を持ち市民にオープンな議会運営にチャレンジする必要があるというメッセージを受取りました。

全体の所感としては、小浜市議会として議会改革に積極的に取り組みいろいろな課題について議員間討論をする必要があると感じました。議会報告会や日々の広報や広聴だけでは市民の関心は満たせていないと捉えた他の市議会の取り組みを参考に、小浜市議会スタイルの議会改革は進めたいと感じました。

#### むろと廃校水族館視察

廃校活用した水族館は全国ニュースで取り上げられるほど画期的な廃校利用の例ということで視察しました。小浜市でも市内小学校統合後の廃校利活用が始まった良いタイミングで、ここでむろと廃校水族館で起こっている成功の仕組みは、とても参考になりました。

視察のタイミングで、県立若狭高校海洋科学科の子がインターンシップされていて、たった1年でこれだけ有名になり独自採算が取れた運営の仕組みを現場で学び地元に戻元してくれる学校の姿勢に感銘を受けました。このインターンシップには、若狭高校の先生方のご努力人脈があると後に高校への聞き取りで判明しました。

さて、中に入るとまさに学校にある道具をうまくデザインしてその地で生きる魚や太平洋沖で生きるエイやサメなどを跳び箱の中に水槽を入れたり手洗い場所では実際に魚に触れる展示をしたり一つ一つが目から鱗でした。黒板に魚の説明が書かれていたり、理科室にはカメやエイなどの骨格標本を置いていて子どもから大人まで分かりやすい仕組みは、ひとつひとつが参考になりました。

最大の見せ場は、やはりプールを大きな水槽に見立てて中でサメやエイやカメが泳いでいる展示。今求められているのは創意工夫とアイデアの実行性だと思いました。

プールでも、インターンシップ中の若狭高校生が水槽内の掃除をしていました。

展示の画期的な方法と、人材育成の仕組みが今後小浜市のまちづくりへの大きなヒントになったと思います。今後、庁内担当部署と議会がこの視察情報からの各議員の所見を共有し政策反映されるよう働きかけていきたいです。



小浜市議会 誠友会 様

# 研修日程表

近畿日本ツーリスト特約店  
ミフクタクシー株式会社  
ミフクツーリスト

高知

〒917-0072 小浜市千種2丁目1-7  
TEL : 0770-53-0329  
FAX : 0770-53-9000

2019年10月30日 (水) ~ 2019年10月31日 (木) 1泊2日

担当: XXXXXXXXXX

No.	月日	ご 旅 程	2019年9月17日
1	10/30 (水)	小浜市役所 6:00出発 → 小浜IC 6:10 → 途中休憩:SAで自由昼食 → 高知IC 12:10 → 高知ぢばさんセンター 12:30頃	
		高知ぢばさんセンター 11:10出発 → 散策 桂浜(坂本龍馬像など) 11:30~12:30 → 昼食 かつお船 12:40~13:30 → 途中休憩 → 見学 むろと廃校水族館 15:30~16:30	
2	10/31 (木)	途中休憩 → 徳島IC 19:20 → 途中休憩 → 小浜IC 22:50 → 小浜市役所 23:00頃	

《お願い》この旅程表は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況により多少時間が変更になる場合があります。《緊急時連絡先》三福タクシー株式会社 0770-52-1414



ロープウェイ



船



ケーブルカー



飛行機



バス・タクシー

徒歩

JR

私鉄

ここは!!



高知県高知市 全国市議会議長会研究フォーラム

高知県室戸市 むろと廃校水族館





様式第1号

領収書等整理表

(令和元年度(5月~3月分)報告分)

科目	広報費
整理番号	1
領収書等貼付欄	
55,000円 × 1 / 2	

納品明細書

日付: 2019年5月10日

DoDo

917-0088

福井県小浜市小浜多賀84



杉本 和範 様

お振込先

[ゆうちょ銀行]  
記号: 14440 番号: 41232131  
口座名義: シミズアド

[福井銀行]  
小浜支店(普)6021884 シミズアド

合計金額  
(消費税込)

¥55,000-

上記の金額で領収いたしました。

納品明細

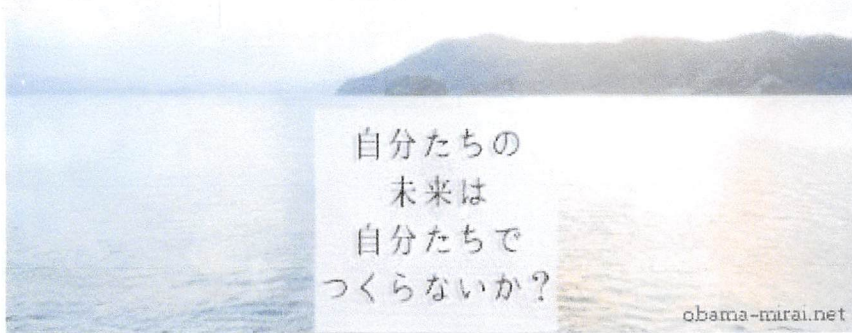
品目	単価	数量	金額
広報: ページ作成及び管理一式	50,000	1	50,000
		1	0
		1	0
小計			50,000
消費税			5,000
合計			55,000

備考

領収書等  
添付合計金額

27,500 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

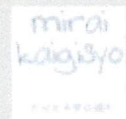


ようこそ、「おばま未来」へ！

「自分たちの未来は自分たちで創らないか」をキーワードに様々な視点でおばまの情報を杉本が発信しています。



facebook ページ  
おばま未来会議  
より日々の情報を  
発信しています。



杉本に伝えたい  
メッセージや情報  
などはこちらから  
お願いいたします。



様式第1号

領収書等整理表

( 元 年度報告分)

科 目	広報費
整理番号	2

納品書

日付：2019年9月30日

DoDo

917-0088

福井県小浜市小浜多賀84



杉本 和範 様

お振込先

[ゆうちょ銀行]

記号：14440 番号：41232131

口座名義：シミズアド

[福井銀行]

小浜支店 (普)6021884 シミズアド

合計金額  
(消費税込)

¥45,000-

上記の通り領収いたしました。

納品明細

品目	単価	数量	金額
活動報告 広報作成,印刷費 (1,000部印刷) 一式	45,000	1	45,000
小計			45,000
消費税 込			
合計			45,000

備考

添付合計金額

45,000 円

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。

小浜市議会議員として日々活動する内容を、この政務活動の広報紙とホームページでリアルタイムに報告していきたいと思っております。

令和元年5月1日から、小浜市議会議員に市民の方々の投票で18名の中に選ばれ、市議会議員の根本的な立場である「市民の代表として、特定の地区ではなく小浜市民全体のために政務活動を行う」ことを常に忘れず、4年間の任期を務めていきたいと思っております。

さて、初めての議員視察は「どこ」の「だれ」の「なに」を視して学び市政に反映するか、考えた末、鎌倉市に決めました。

この視察の目的は、鎌倉市は約600億円規模の一般会計予算規模約17万人と小浜市に比べて予算は約4倍近いが、この大きな規模の鎌倉市総合計画策定の方法として民間の声を「ブレインストーミング」のような方法で集めて反映する仕組みで策定されたその担当課とキーパーソンに話を伺うことでした。これが「どこ」の選択理由です。

そして、鎌倉は鯖江市のプランコンテストの原点である「カマコン」というまちづくりのアイデアを市民や団体が毎月考えプレゼンするという仕組みがあり、その仕掛け企業「面白法人カヤック」(kayac.com)のまちづくりとの仕組みを直接聞き取り、この代表カヤック代表の柳澤氏が根付かせている仕組みを広報担当者から聞き取った。これが「だれ」の人の部分です。最後に、「なに」が起こっているか。鎌倉で起こっていることは、何なのか？ その鎌倉の「カマコン」のルーツを持つ同じ県内の唯一人口が減っていないといわれる鯖江市に「なに」をもたらしたのか。現地視察してきました。

成果は予想以上に大きかったです。まず、スケジュール上「面白法人カヤック」の広報担当者からカマコンことカマコンバレーの現状やここでのアイデアが市のまちづくりに反映される仕組みについてプレゼンテーション方式で説明を受けました。2013年から始まっている毎月1回の定例会を開催しているカマコンは現在地域団体となり「鎌倉をもっと元気にする」という目的のもとメンバーは150人以上の大きな団体となっている。定例会では、有志がプロジェクトを持ち寄ってプレゼンし、全員でブレインストー



問い合わせ、伝えたい事などはこちら↓  
杉本和範  
TEL 090-8323-4345  
mail airocean88@gmail.com

ミングを行って、どうしたら実現できるが議論している。これによって地域課題がリアルタイムにジブンゴトとなり、市民参加型のまちづくりが可能な仕組みが出来上がっている。例えとして、鎌倉市の花火大会も一度無くなったが、カマコンでのアイデアで復活した。

鎌倉市には、東京横浜間が新幹線で17分とそこからの2次交通で都心部へのアクセスタイムの良さや古き良き文化とニュービジネスの共存が町としての魅力になり、サテライトオフィスや本社を鎌倉に移す中堅企業が増えるなど、未来型にスムーズにシフトしているまちづくりのお手本も多かった。

さらに昼食をとったのが、「まちの社員食堂」。この取り組みは、20社近くの近隣小中企業と鎌倉市役所組合が共通の社員食堂として運営して、福利厚生の一部機能を共有する仕組みでした。この仕組みは、まちの駅座席の新たな利活用方法として検討材料と感じました。



その後、鎌倉市役所共創計画部の総合計画策定担当者様からプロポーザル選定のから市民との共創で総合計画を策定した流れ、「時代に合わせた6年サイクルの総合計画策定への変更（もともと10年サイクル）」への理事者と議会の取り組みを聞きました。資料や市民とブレインストーミングから総合計画を作り上げるアイデアを実際に担当された職員の方からも具体的に聞いて、小浜でも参考に今後の委員会や理事者参考資料としても渡したいと思いました。

今後、小浜市でも令和二年度中に「第6次総合計画」を策定して2021年度令和三年度から10年間の計画が実行されていきます。まだまだ市民が参加して作る総合計画策定の仕組みは、鎌倉市に比べて不足していますが、これからも市民の皆様の大切な声を、議会や18人いる議員に伝えて「ジブンゴト」としてまちづくりに参加していただければと思います。







科 目	資料購入費	
整理番号	1	
領収書等貼付欄		
		
領 収 証 <u>杉本 和範</u> 様 No. _____		
金額	¥30625	
但 R2年6月~R2年3月迄の福井新聞購読料として 2年3月31日 上記正に領収いたしました		
内 訳		
現 金	/	
小 切 手	/	
手 形	/	
消費税額 ( % )	/	
	福井新聞小浜北販売店 店主 大田康人  〒917-0093 福井県小浜市水取4丁目1-9 TEL0770-53-2817・FAX0770-52-5643	
領 収 書 等 添付合計金額	30625 円	

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
 この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。



領収書等整理表

(令和元年度(5月~3月分)報告分)

科 目	事務所費	
整理番号	1	
領収書等貼付欄		
別添のとおり		
	料金	×1/4
5月分	3,891	972
6月分	3,891	972
7月分	3,891	972
8月分	3,892	973
9月分	3,892	973
10月分	3,892	973
11月分	3,944	986
12月分	3,944	986
1月分	3,944	986
2月分	3,943	985
3月分	3,943	985
合計	43,067	10,763
領 収 書 等 添付合計金額	10,763 円	

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。  
この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。



領収書等整理表

(令和元年度 (5月～3月分) 報告分)

科 目	事務所費		
整理番号	2		
領収書等貼付欄			
別添のとおり			
	料金	×1/4	上限額 ¥3,000
5月分	12,738	3,184	3,000
6月分	12,722	3,180	3,000
7月分	13,022	3,255	3,000
8月分	17,811	4,452	3,000
9月分	13,529	3,382	3,000
10月分	13,539	3,384	3,000
11月分	16,245	4,061	3,000
12月分	14,563	3,640	3,000
1月分	13,591	3,397	3,000
2月分	17,125	4,281	3,000
3月分	13,563	3,390	3,000
合計	158,448	39,606	33,000
領 収 書 等 添付合計金額	33,000 円		

※貼付する領収書等は、支出年月日、金額、相手方が確認できるようにしてください。

この用紙に複数の領収書等を貼付する場合は、同じ科目とすること。



917-0018  
福井県小浜市松ヶ崎2丁目6-8クラウイエM  
A101

杉本 和範 様



05 50000034#-13D-AHKX11X  
BS

## ご利用料金証明書

090-8323-4345のご利用料金  
証明書No. 0000000006

ご請求月	ご利用金額(円)	うち消費税相当額(円)	備考
2019年 5月	12,738	645	
2019年 6月	12,722	644	
2019年 7月	13,022	646	
2019年 8月	17,811	642	
2019年 9月	13,529	647	
2019年10月	13,539	642	
2019年11月	16,245	1,089	
2019年12月	14,563	722	
2020年 1月	13,591	723	
2020年 2月	17,125	722	
2020年 3月	13,563	720	
合計	158,448	7,842	

本書は、回線単位のご利用料金を記載したものであり、料金のお支払い額を証明しているものではありません。